

FGFR3 陽性多発性骨髄腫の臨床的特徴と予後的意義

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2012年4月から2018年12月に湘南鎌倉総合病院血液内科でBortezomib（商品名：ベルケイド®）またはLenalidomide（商品名：レブラミド®）など新規薬剤による化学療法を受けた多発性骨髄腫の患者さま

2. 研究目的・方法

多発性骨髄腫の患者さまに対する化学療法の治療効果と予後について、FGFR3陽性の患者さまと陰性の患者さまで比較検討することを目的としています。FGFR3は、多発性骨髄腫の患者さんの15%程度に見られる遺伝子異常で、この遺伝子異常があると、予後不良であることがわかっていますが、多発性骨髄腫ではこの5年以内に多数抗がん剤の新薬が登場し、新薬登場後におけるFGFR3と治療の効果については、わかっていないことが多くあります。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、骨髄腫のタイプ(IgG、IgA、BJP)、FGFR3陽性か陰性か、治療歴、移植の有無、多発性骨髄腫の国際病期分類（ISS：International staging system）、予後（生存期間）等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

湘南鎌倉総合病院 血液内科 佐藤淑（研究責任者）

住所：神奈川県鎌倉市岡本 1370-1

電話番号：0467-46-1717（代表）

（2019年8月5日作成）